

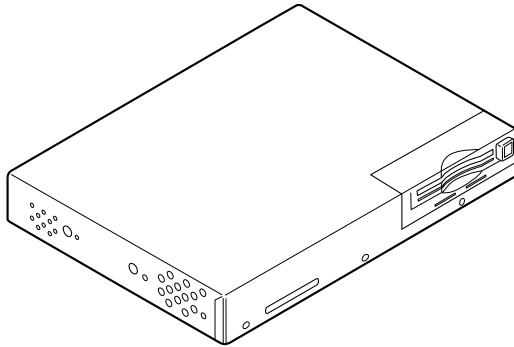
MITSUBISHI

三菱車載用ワンセグ対応地上デジタルTVチューナー

形名

TU-300D

取付要領書



ご注意とお願い

●取り付けおよび接続作業の前に「取付要領書」をよくお読みの上、正しく作業を行ってください。

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示とともに取り扱い上の注意点を記載しています。絵表示は次のような意味を示しています。

正しい取付け
正しい操作で
安全運転



警告 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると人が傷害を負う可能性が想定される内容を示しています。



してはいけない「禁止」の行為を示します。



必ず実行していただく「強制」の行為を示します。



「注意」(警告を含む)を示す内容を示します。



警告

安全上お守りいただきたいこと

取り付け・配線について



禁止

24V車で使用しない

●本機はDC12V⊖アース車専用です。大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車で使用しないでください。火災などの原因となります。



禁止

運転操作を妨げる場所や同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けない

●交通事故やけがの原因となります。



禁止

エアバッグ動作を妨げる場所には取り付けない

●エアバッグシステム装備車の場合は、エアバッグシステム動作の妨げになる場所に取り付けしないでください。交通事故の際、エアバッグシステムが正常に機能せず危険です。



禁止

保安部品のボルトやナットは使用しない

●車体のボルトやナットを使用して機器を取り付けたり、アースをとるときは、ステアリング、ブレーキ系統やタンクなどの保安部品のボルトやナットは絶対に使用しないでください。これらを使用しますと、事故や発火の原因となります。



注意

燃料タンクなどに穴をあけない

●車体に穴をあけるときは裏側に何もなことを確かめ、燃料タンクなどに穴をあけないように注意してください。また配線を傷つけないように注意してください。



実施

バッテリーを接続したまま配線しない

●配線作業中は、バッテリーの⊖端子を外してください。⊖端子を外さずに作業するとショート事故による感電やけがの原因となります。



禁止

タコ足配線をしない

●電源コードの被覆を破って、他の機器の電源を取ることは絶対にお止めください。コードの電源容量をオーバーし、火災、感電の原因となります。



実施

コード類はまとめておく

●コード類は運転操作の妨げとならないよう、まとめておくなどしてください。ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと危険です。



実施

規定容量以外のヒューズを使用しない

●ヒューズが切れたときは、規定容量(アンペア数)のヒューズと交換してください。規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災の原因となります。



実施

すべての電装品の動作を確認する

●取り付けと配線が終わったら、すべての電装品が元通り正常に動作することをお確かめください。正常に動作しない状態で使用すると火災や感電、事故の原因となります。



分解禁止

分解、改造はしない

●機器を分解したり、改造しないでください。事故、火災、感電の原因となります。



禁止

B-CASカード挿入口に異物を入れない

●火災や感電、故障の原因となります。



注意

安全上お守りいただきたいこと

取り付け・配線について



実施

本機取り付け・配線には、専門技術者に依頼する

●取り外し、取り付けには専門技術と経験が必要です。安全のため必ず「お買い上げの販売店」に依頼してください。



禁止

本機を車載用として以外は使用しない

●感電やけがの原因となることがあります。

ご注意とお願い つづき



説明書の指示に従い配線する

- 「取付要領書」の指示に従い配線してください。正規の接続を行なわないと、火災や事故の原因となることがあります。



高温になる所へは取り付けない

- 熱の影響を受けやすいヒーターの吹き出し口の近くには取り付けないでください。機器が加熱し、火災の原因となることがあります。



通風孔や放熱板をふさがない

- 機器の通風孔や放熱板をふさがないでください。通風孔や放熱板をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。



指定以外の部品を使用しない

- 必ず付属の部品を指定通り使用してください。指定以外の部品を使用すると、機器内部の部品をいためたり、しっかりと固定できず外れたりして危険です。



コードのはさみ込みに注意する

- 車体やねじ部分、シートレール等の可動部にコードをはさみ込まないように注意してください。断線やショートにより、事故や感電、火災の原因となることがあります。



コードの被覆を傷めない

- 車両部品のバリ（部品加工時にできる鋭利な突起）や鋭利な場所にコードが接触する場合は、コードの被覆を傷めないように必ずクッションテープなどで保護してください。火災や感電の原因となることがあります。



本機を不安定なところに取り付けない

- 本機を振動の多いところなど、しっかりと固定できないところに取り付けないでください。走行中に機器が落下するなどして、事故やけがの原因となることがあります。



エアバッグ装着車は、車両メーカーの注意事項をよく確認する

- エアバッグが誤動作する原因となることがあります。



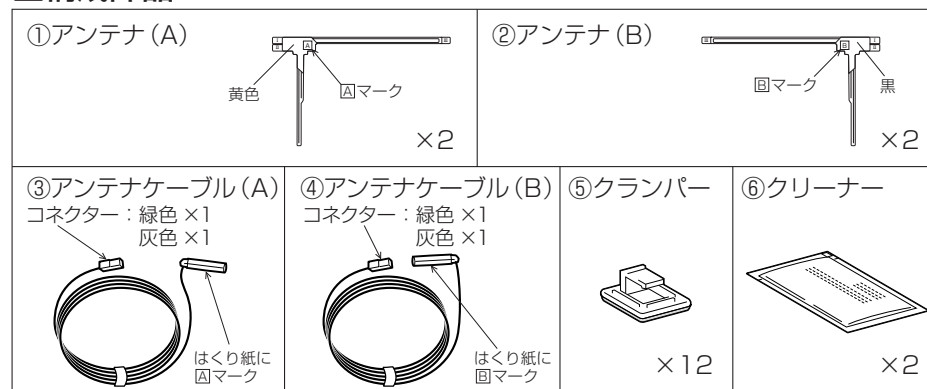
水のかかるところやほこりの多いところへは取り付けない

- 雨が吹き込むところなど、水のかかるところや湿気やほこりの多いところへの取り付けは避けてください。機器内部に水や湿気、ほこりが混入すると発煙や発火の原因となることがあります。

取付方法

フィルムアンテナの取り付けかた

■構成部品



■取付作業前のご注意

- 貼り付け・配線をするためには、フロントウィンドウ周りの内装を一時的に取り外す必要がありますので、ご了承ください。
- 車種によって、取り付けられない場合があります。販売店にご相談ください。
 - 熱線反射ガラスや断熱ガラス、電波不透過ガラスなど電波を通さないガラスを使用している車種の場合には受信感度が極端に低下します。
 - 車室内に取り付けるアンテナは、エアコン用モーターなどから出るノイズにより、テレビの映りが悪くなる場合がありますが故障ではありません。
- 必ずフロントウィンドウの指定の位置・寸法内に貼り付けてください。
 - 保安基準に適合させるため、本書をよくお読みになり、正しく取り付けてください。
 - 本製品は、フロントウィンドウ専用です。車体の側面（ドアやフロントクォーターウィンドウなど）や、後面（リアウィンドウ）に貼り付けると、受信感度が低下する場合があります。
 - アンテナ表面保護用フィルムをはがしたあと、アンテナ貼付面には手をふれないでください。指紋やゴミが付着し、粘着力が低下します。
 - アンテナを接続する機器の説明書も併せてご覧ください。
 - ※保安基準は、道路運送車両の保安基準第29条第4項第7号に対する、平成11年12月27日付の運輸省（当時）告示第820号をいいます。
- フロントピラーエアバッグ（カーテンエアバッグ）を装着した車輦に取り付ける場合は、エアバッグ関連の取扱の教育を受けた専門技術者に依頼してください。

一度貼り付けてはがすと、粘着力が弱くなるため貼りなおしができません。必ずコードおよびアンテナを仮止めし、コードの配線などを十分に検討してから貼り付けてください。

取付方法 つづき

フィルムアンテナの取り付けかた つづき

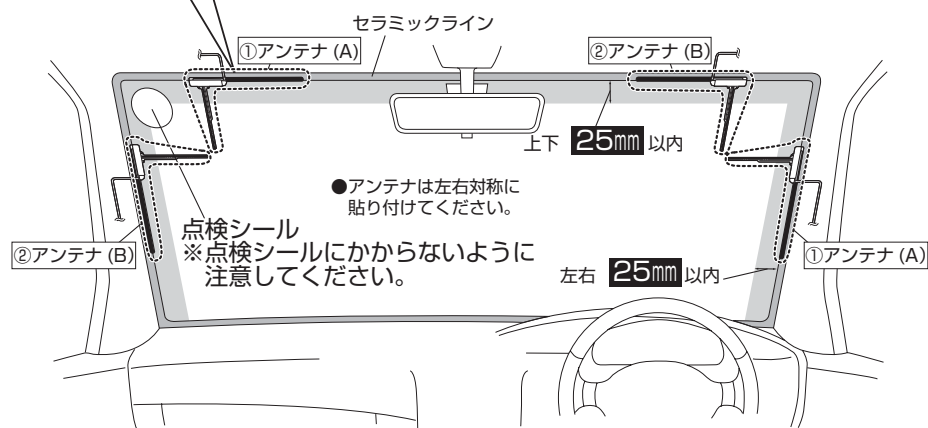
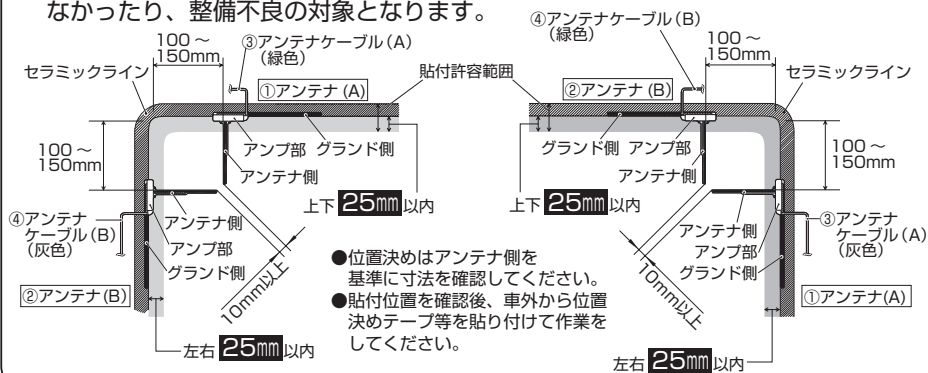
1. 貼付位置について

- 保安基準に適合させるため、また性能を十分発揮するために、アンブ部は必ず貼付許容範囲内の位置に貼り付けてください。
- 検査標章や点検シールと重ならない様に貼り付けてください。

①ご注意

貼付許容範囲 (部) について (セラミックラインの境界が無い場合、またはセラミックラインが無い場合は8ページをご参照ください)

- ・ アンテナケーブルのアンブ部は、必ず貼付許容範囲内に貼り付けてください。
- ・ 貼付許容範囲外に貼り付けると道路運送車輛の保安基準に適合せず、車検に通らなかったり、整備不良の対象となります。



推奨 アンテナ貼付位置 (車内側)

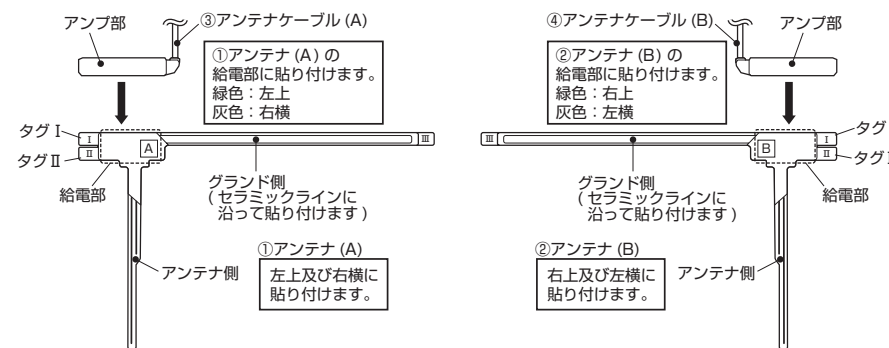
①ご注意

- ・ ①アンテナ (A)、②アンテナ (B) は、アンテナ側とグラウンド側があります。貼付位置、貼付方向を十分確認の上、位置決めしてください。
- ・ ③アンテナケーブル (A) は①アンテナ (A) に、④アンテナケーブル (B) は②アンテナ (B) の給電部にそれぞれ貼り付けます。
- ・ ③アンテナケーブル (A)、④アンテナケーブル (B) はコネクターが緑色と灰色で色分けされています。

緑色：左上及び右上

灰色：左横及び右横

に配線します。

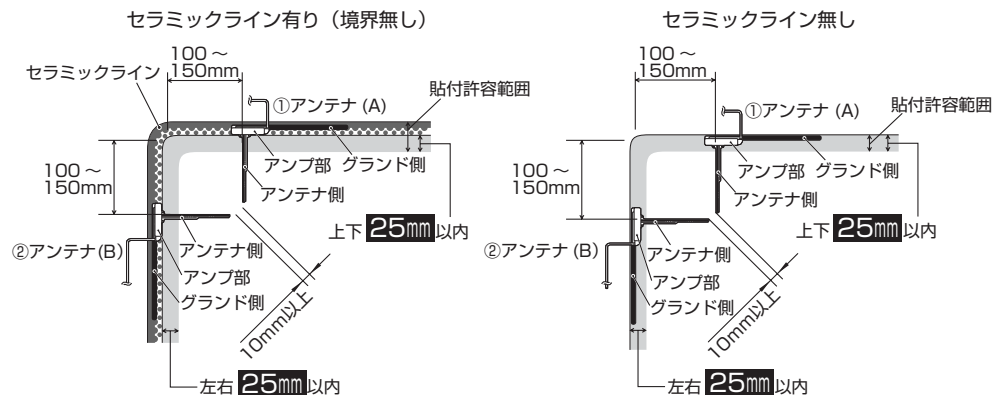


取付方法 つづき

フィルムアンテナの取り付けかた つづき

セラミックラインの境界が無い場合、またはセラミックラインが無い場合の貼付許容範囲 (■部) について

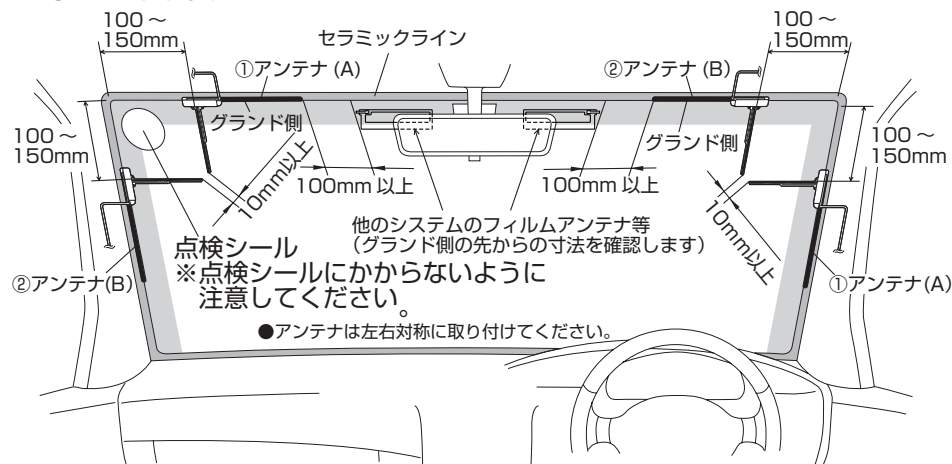
- アンテナケーブルのアンブ部は必ず貼付許容範囲内に貼り付けてください。



推奨 アンテナ貼付位置(車内側)

他のアンテナと同時装着する場合

- 他のシステムのフィルムアンテナ等と同時装着する場合は、他のアンテナを100mm以上離して貼り付けてください。接近して取り付けますと、受信感が悪くなるおそれがあります。



推奨 アンテナ貼付位置(車内側)

①ご注意

- 推奨アンテナ位置に取り付けできない場合は③アンテナケーブル(A)灰色、④アンテナケーブル(B)灰色を左上及び右上(縦貼)もしくは左横及び右横(横貼)に2本取り付けてください。(左右のアンテナは必ず対称な位置に取り付けてください)
- フィルムアンテナを2本で使用する場合は、アンテナ2本接続モードに設定してください。詳しくは取扱説明書の機器の設定/受信機設定メニューについて/動作モード設定をご参照ください。
- フィルムアンテナを2本で使用する場合、4本で使用する場合と比較して、十分な受信感度が得られない場合があります。(一部の機能は使用できません)

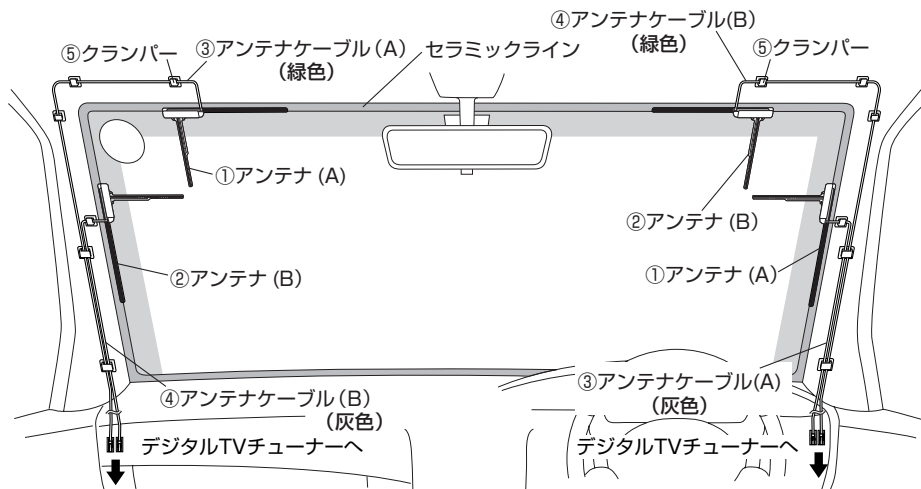
取付方法 つづき

フィルムアンテナの取り付けかた つづき

2. アンテナケーブルの配線をする

1 内装（ピラーカバー・ルーフライニング）を取り外し、フィルムアンテナの位置決めを行い、アンテナケーブルを配線する

- ・コネクタが緑色のケーブルは左上、右上、コネクタが灰色のケーブルは左横、右横に配線します。
- ・実際に配線する前に、コード類をテープなどで仮止めして、端子がアンテナの給電部に貼り付けられることを確認してください。また、必要に応じてアンテナの位置も微調整してください。
- ・⑤クランプは下図を参考に位置決めしてください。



3. 貼り付け前の準備

1 貼付部分を付属の⑥クリーナーできれいにする

2 乾拭きを行い、貼付部分をきれいに拭き取る

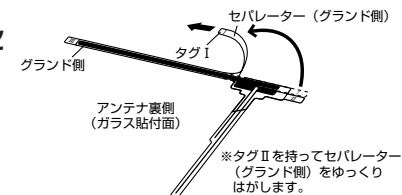
- ・貼付部分は完全に乾いた状態にしてください。

お願い

- ・貼付部分が乾いていないと、アンテナ線が密着しません。
- ・クリーナーは必ず付属のクリーナーを使用してください。界面活性剤入りのクリーナーを使用するとアンテナが貼り付かなくなります。
- ・冬場などはガラス面の結露などの水分をよく拭き取りガラス面、アンテナ自体を暖めてから作業を開始してください。

4. アンテナの貼り付けかた

1 タグⅠを持ち、グラウンド側方向にセパレーターをゆっくりとはがす

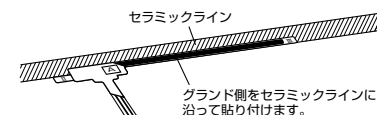


お願い

- ・セパレーターを急にはがすと、グラウンド線を断線したり、極端にゆっくりはがすと、セパレーター側に残る原因となります。
- ・セパレーターをはがすときは、強く折り曲げたりしないでください。
- ・セパレーターをはがしたあとに、グラウンド線に触れたり、物を当てたりして皮脂やホコリを付けないでください。

2 フィルムを取付部分に貼り付ける

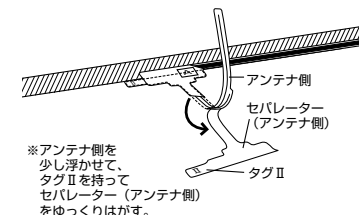
- ・あらかじめマーキングなどした位置にアンテナ（グラウンド側）を貼り付けます。



3 タグⅡを持ち、アンテナ側方向にセパレーターをゆっくりとはがしながら、給電部側より徐々に指などでアンテナ部分を押し付けて貼り付ける

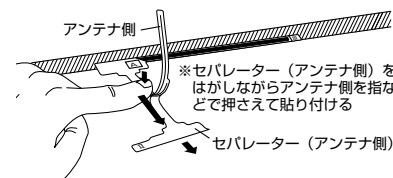
お願い

- セパレーターをはがしながら、アンテナ線を貼り付けます。途中で作業を止めたり、押さえる力を緩めたりすると、貼り付け面が白く濁る場合があるので十分注意して作業を行ってください。



4 アンテナ線、グラウンド線をフィルムの上から念入りに押し付けて貼付面に密着させる

- ・アンテナ線、グラウンド線をなぞるように強く押しつけて気泡が残らないように密着させてください。



お願い

- 押し付けが足りないと、アンテナが浮いたり、はがれる原因となります。

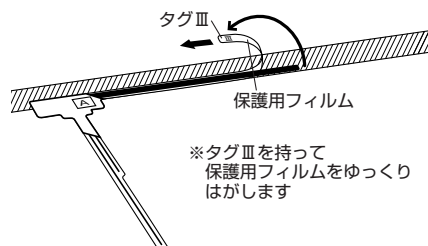
取付方法 つづき

フィルムアンテナの取り付けかた つづき

4. アンテナの貼り付けかた つづき

5 タグⅢを持ち、グランド側方向から保護用フィルムをゆっくりとはがす

- ・アンテナ線、グランド線が確実に貼り付いていることを確認しながら、ゆっくりとはがします。



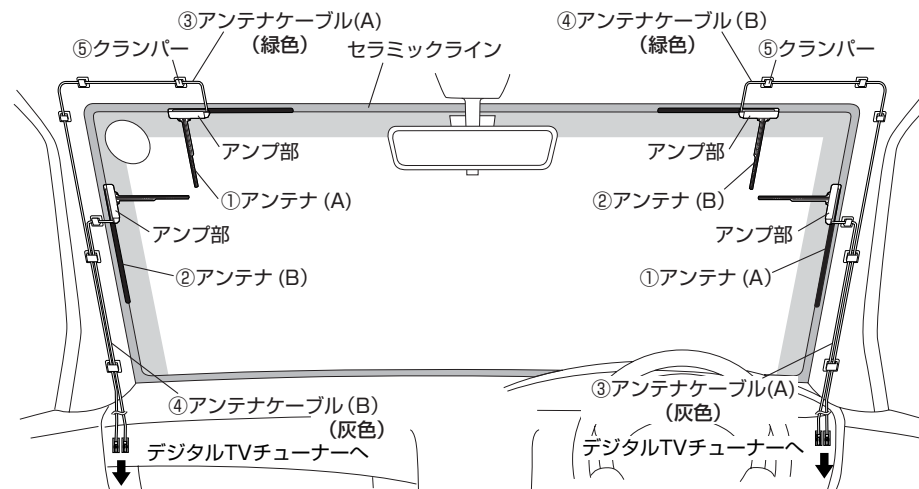
お願い

- ・タグⅢ部分以外からはがしたり、急にはがしたりしないでください。アンテナ線やグランド線が断線する原因となります。
- ・アンテナの給電部には触れないでください。錆の原因となります。

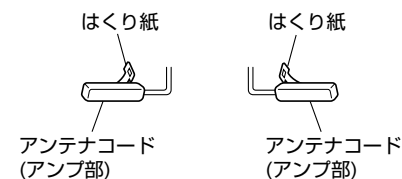
！ご注意

アンテナ貼り付け直後（3時間以内）は貼り付けたアンテナにガラスクリーナーなどを吹き付けたり、アンテナの上から直接ガラスを拭いたりしないでください。また、時間に関わらず、アンテナ上を直接拭く時は柔らかい布などを使用し、アンテナが傷付かないよう注意してください。

5. アンブ部を貼り付ける

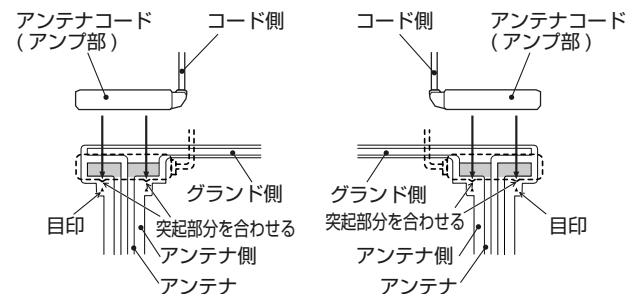


1 アンテナコードのアンブ部のはくり紙をはがす



2 アンブ部の突起部を、アンテナの目印に合わせて貼り付ける

- ・端子の貼付位置がずれると、アンテナの給電部の接触が悪くなり十分な性能が発揮できません。右図を参照し、正確に貼り付けてください。



お願い

- ・端子がしっかりと貼り付くように、アンテナ（①②）の給電部の周りをもう一度乾いた布などできれいに拭いてください。
- ・アンブ部付近は、無理に引っ張ったり、折ったり、ねじるなど、絶対にしないでください。

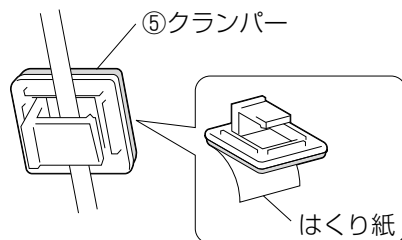
取付方法 つづき

フィルムアンテナの取り付けかた つづき

5. アンブ部を貼り付ける つづき

3 ⑤クランパーでアンテナケーブルを固定する

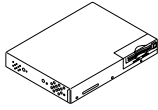
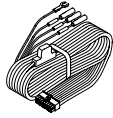




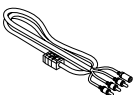
・各1ヶ所は⑤クランパーでアンテナコードのアンブ部に近い位置で固定してください。残った⑤クランパーで要所を固定しながら配線を引き廻してください。



4 内装(ピラーカバー・ルーフィング)を元通りに取り付ける

地上デジタルTVチューナーの取り付けかた

■構成部品

①デジタルTVチューナー 	②電源コード 	③取付ブラケット  ×2	④クリップ  ×4
⑤カップスクリュー  ×4	⑥面ファスナー  ×2	⑦AVCケーブル (映像・音声ケーブル) 	

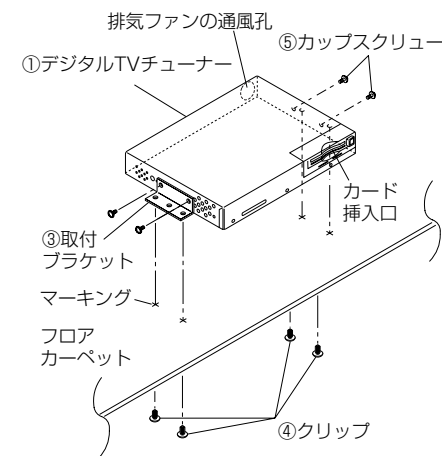
取付ブラケットを使用して固定する場合

1 ①デジタルTVチューナー側面に③取付ブラケットを⑤カップスクリューで固定する

2 フロアカーペットに、ペンなどでマーキングする

3 マーキングしたところを、カッターナイフなどで十字に切り込みを入れる

・④クリップ先端を切り込みより通し、取付ブラケットの穴に通し、①デジタルTVチューナーを固定する



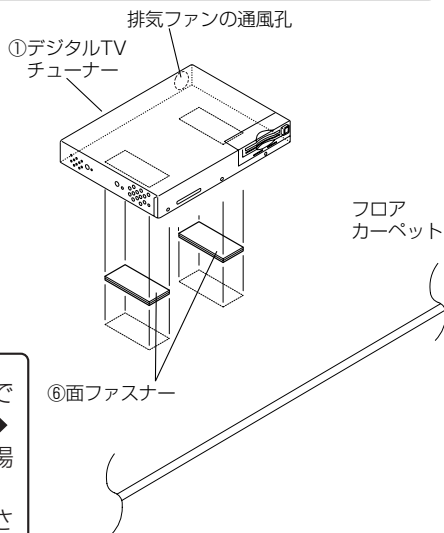
⚠️ ご注意

- ・付属のB-CASカードが挿入、取り出しできるように位置決めしてください。 **P25**
- ・エアコンダクトからの温風があたらない場所に位置決めしてください。
- ・コネクター側の排気ファンの通風孔をふさがないようにしてください。

取付方法 つづき

面ファスナーを使用して固定する場合

1 ⑥面ファスナーのフック側のセパレーターをはがし、①デジタルTVチューナー底面（両端）に貼り付ける



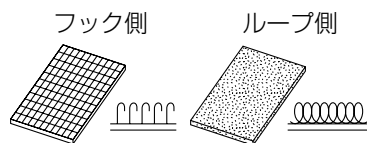
2 ⑥面ファスナーのループ側のセパレーターをはがし車両側に貼り付け、①デジタルTVチューナーを固定する

①ご注意

- ・ 付属のB-CASカードが挿入、取り出しできるように位置決めしてください。P25▶
- ・ エアコンダクトからの温風があたらない場所に位置決めしてください。
- ・ コネクター側の排気ファンの通風孔をふさがないようにしてください。

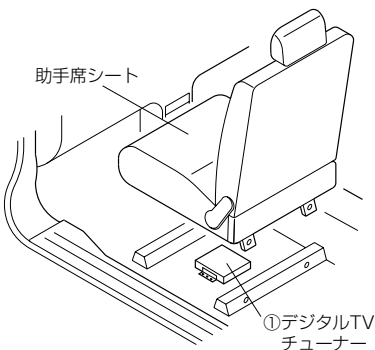
<⑥面ファスナー（付属）>

フロアカーペットに毛足がある車両では面ファスナーの両面テープが効かないことがあります。その場合は、面ファスナーのフック側のみ使用しフック面をフロアカーペットに貼り付け、本体を固定してください。



■助手席シート下への取付例

記載されている取付例は、一例です。詳細については、お買い上げの販売店または、最寄りの地区別サービス店（別紙サービス店名簿）へご相談ください。



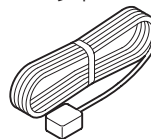
①ご注意

- ・ 急ブレーキ、急ハンドルなどにより、本機が移動すると危険です。シート下への取り付けは確実に行ってください。できる限り取付ブラケットとクリップを使用して固定してください。
- ・ フロアカーペットの毛足が長いタイプの場合、面ファスナーの粘着剤が効かないことがあります。この場合、面ファスナーのフック側のみでフロアカーペットへ固定してください。

リモコン受光ユニットの取り付けかた

■構成部品

①リモコン受光ユニット



②両面接着テープ



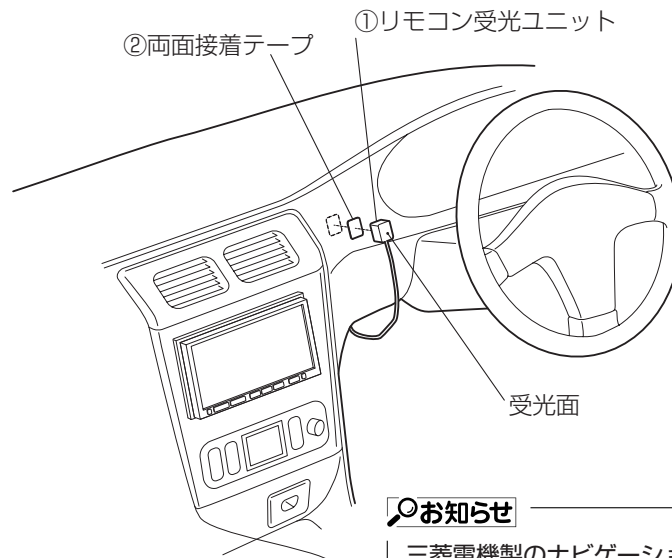
①ご注意

①リモコン受光ユニットは直射日光が差込まない場所へ取り付けてください。直射日光が入るとリモコンが効かなくなることがあります。

ダッシュボード及び助手席の下などに付属の②両面接着テープで貼り付けてください。両面接着テープを貼り付ける面は、きれいに汚れをふきとってください。

①リモコン受光ユニットはAVCケーブルのミニジャックに接続します。

①リモコン受光ユニットの接続について P18~20▶

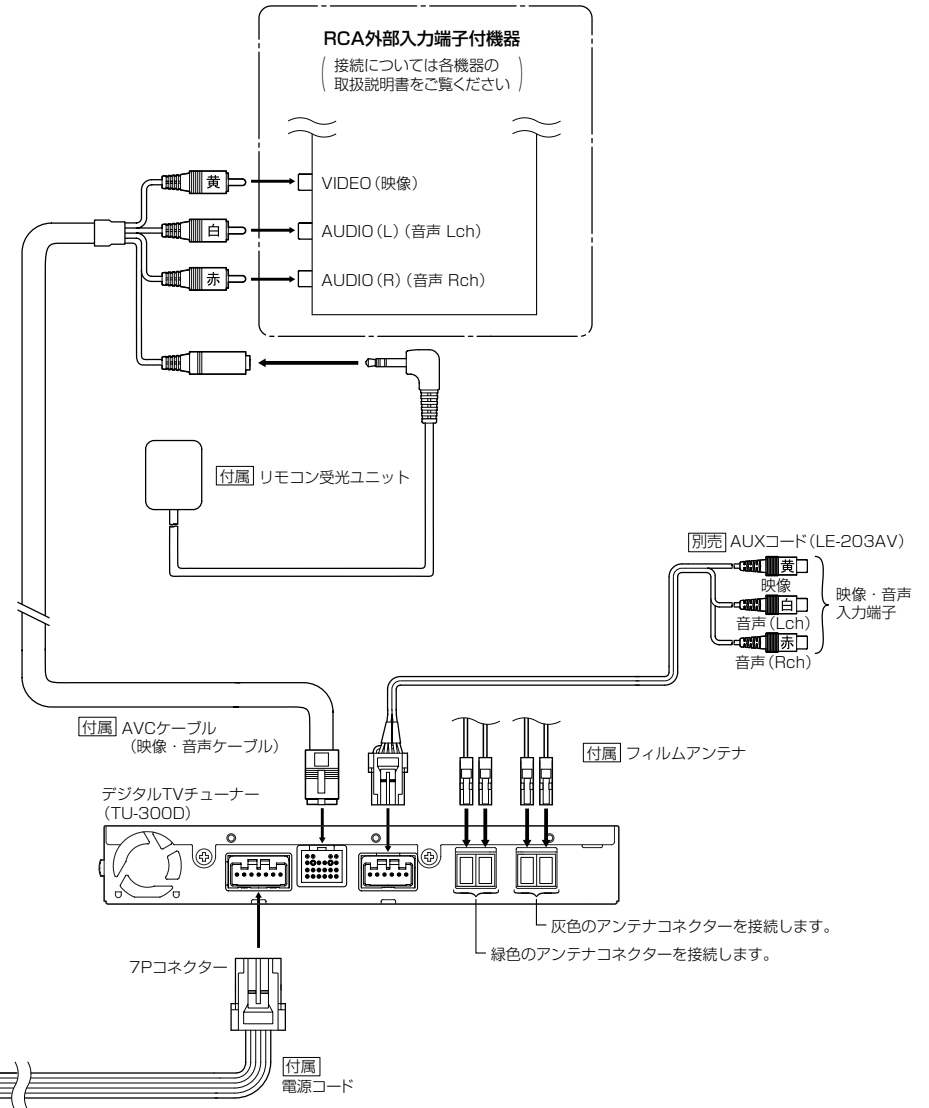
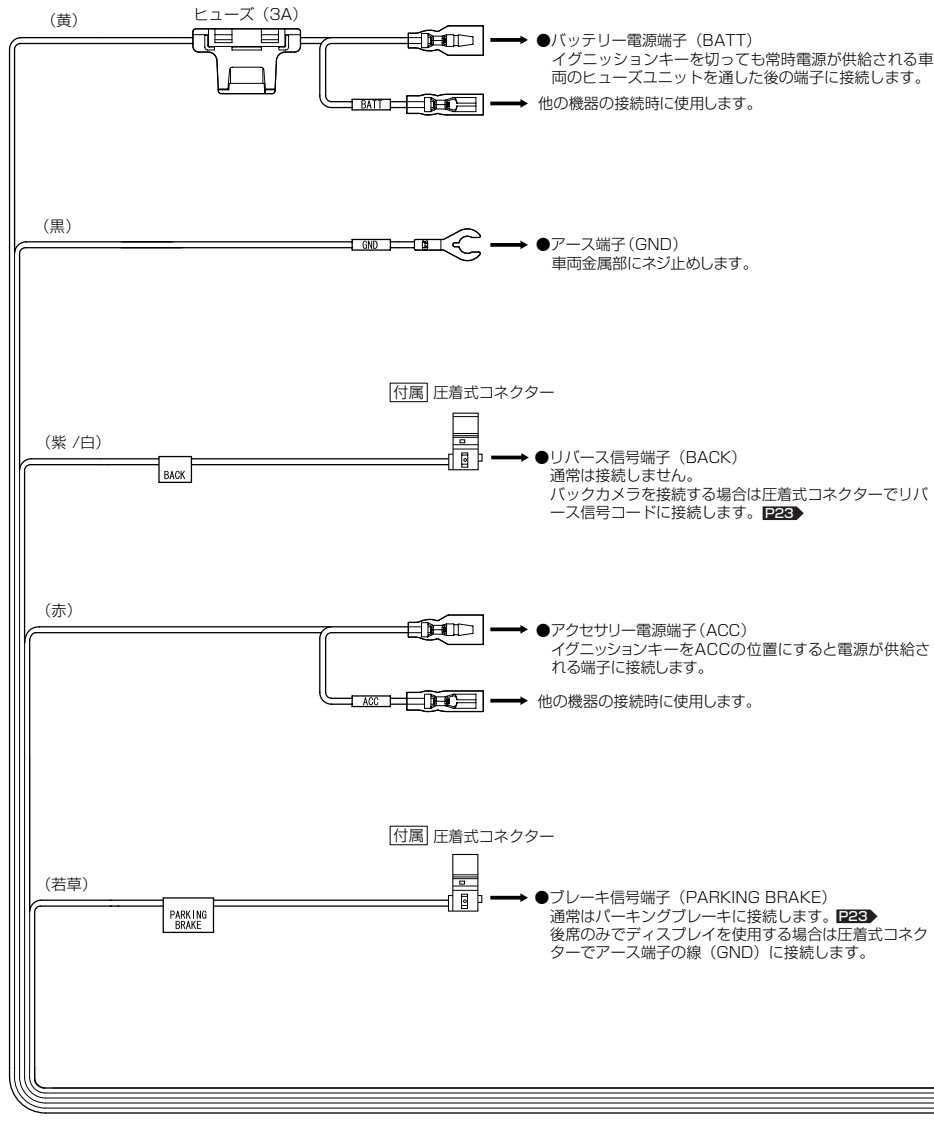


①お知らせ

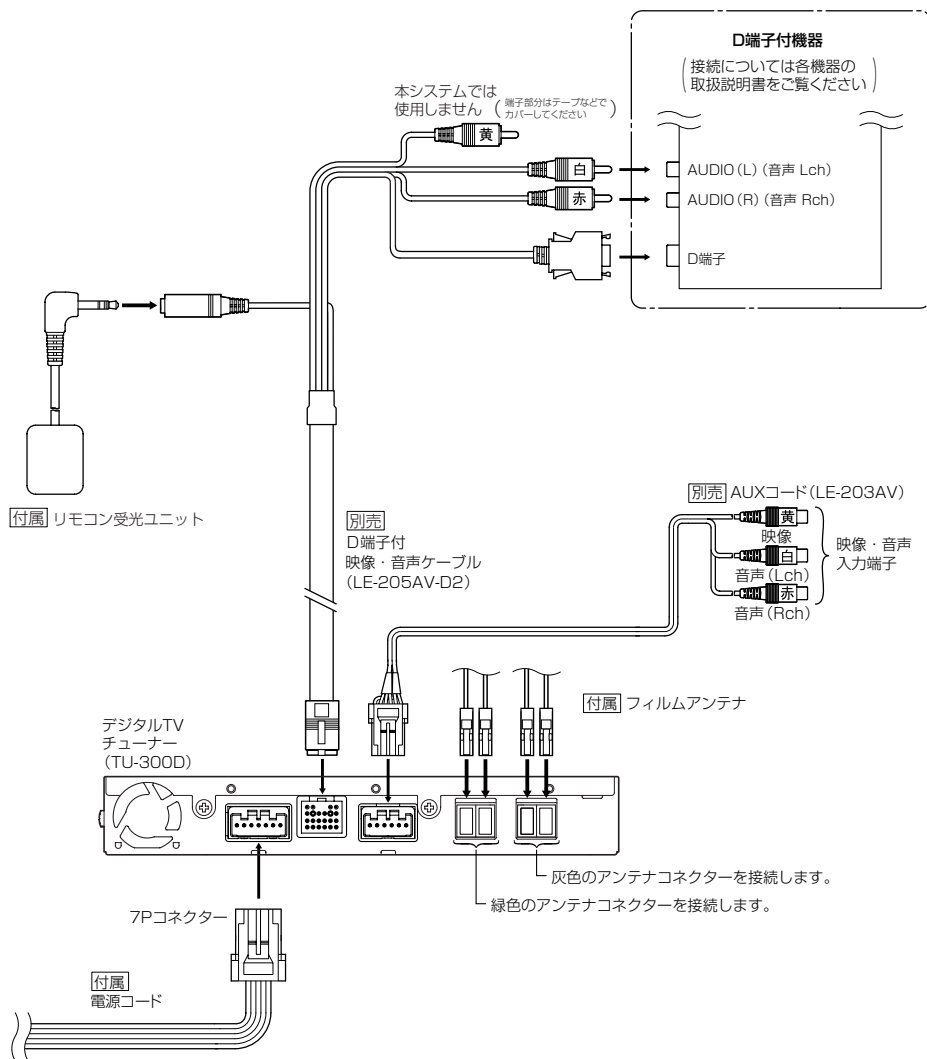
三菱電機製のナビゲーションと専用BUSケーブルで接続時はナビゲーションに受光部が内蔵されているので①リモコン受光ユニットは使用しません。P21▶

接続方法

接続機器の電源などの配線は、それぞれの機器の取扱説明書をお読みになり、正しく配線してください。



D端子付機器との接続



お知らせ

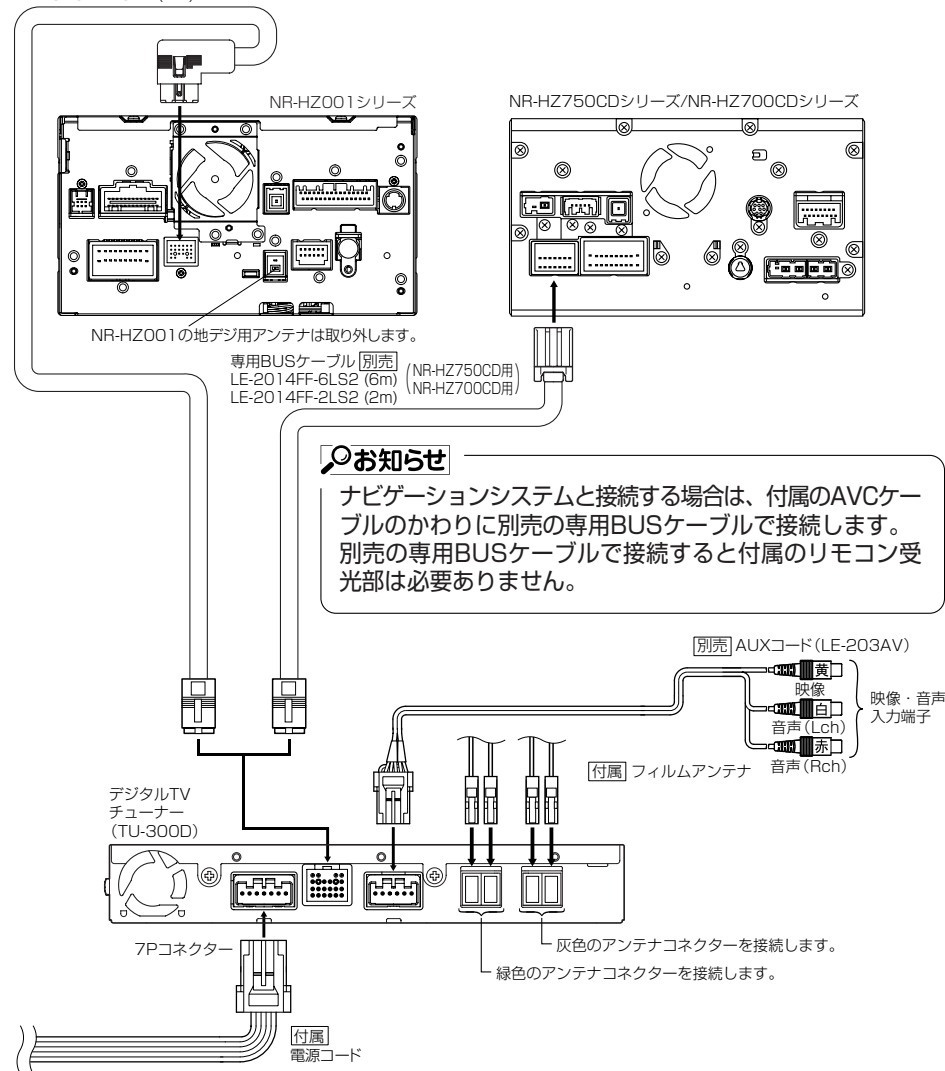
480p (D2相当) : フラグシップ®でご覧いただけます。
※RCA映像出力も同時にご覧いただけます。

※1回の走査で画面表示を行なうことで、画面のちらつきを抑えることができます。この方式は、ハイビジョン対応の高画質テレビなどで採用されています。

地上デジタルTVチューナータッチパネル対応カーナビゲーションシステムとの接続

■当社製地上デジタルTVチューナータッチパネル対応ナビゲーションシステム (NR-HZ001/NR-HZ750CD/NR-HZ700CD) に接続する場合 (別売の専用BUSケーブルで接続します)

専用BUSケーブル 別売 (NR-HZ001用)
LE-2020FF-6SL2 (6m)
LE-2020FF-2SL2 (2m)



お知らせ

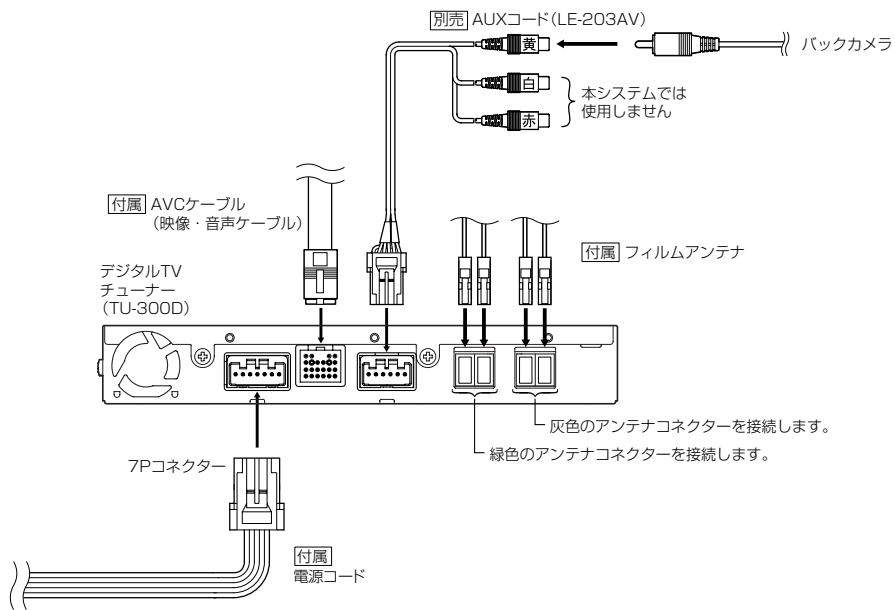
ナビゲーションシステムと接続する場合は、付属のAVCケーブルのかわりに別売の専用BUSケーブルで接続します。別売の専用BUSケーブルで接続すると付属のリモコン受光部は必要ありません。

バックカメラとの接続

本機にバックカメラを接続する場合は別売のAUXコードの黄（映像）端子にバックカメラの出力端子を接続します。

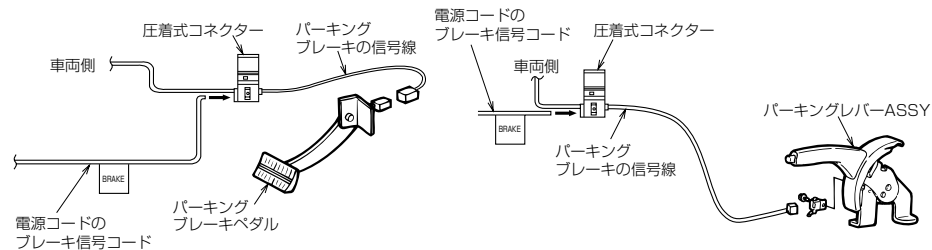
お知らせ

バックカメラを接続する場合は必ずリバース信号端子を車両のリバース信号コードに接続します。**P18**
バックカメラの映像を表示するときは、ナビゲーションシステムやディスプレイの入力切換を本機に切り換えてください。



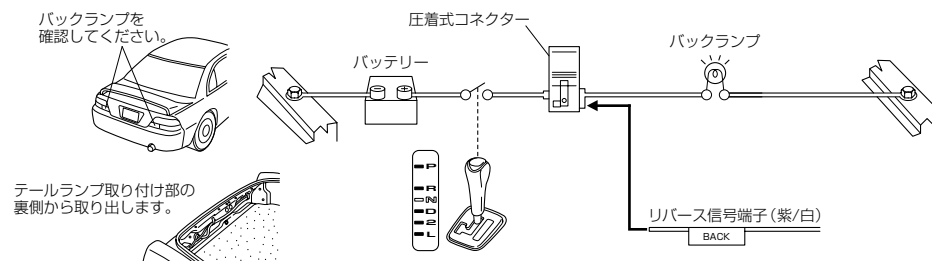
ブレーキ信号の取り出し方

パーキングブレーキの信号線の位置は車両によって異なります。下記は代表的な例です。詳細については、最寄りの地区別サービス店（別紙サービス店名簿をご覧ください）へご相談ください。



リバース信号の取り出し方

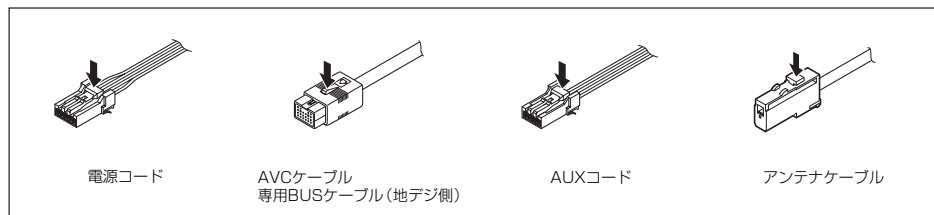
チェンジレバーをリバース (R) に入れたとき点灯するバックランプ（後退灯、透明のレンズが付いたランプ）のプラス線にリバース信号端子（紫/白）を接続してください。



接続方法 つづき

コネクターの脱着について

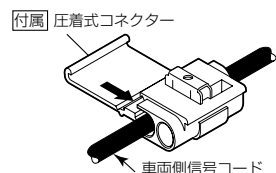
各コネクタ接続時は確実に奥まで差し込んでください。また取り外す際には、矢印の部分を押しながらコネクタを引き抜いてください。



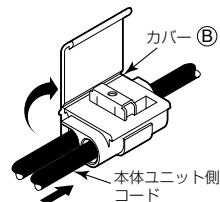
圧着式コネクターの使いかた

1～4の手順で取り付けを行ってください。

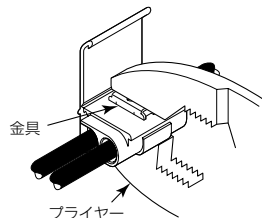
1 車両側信号コードから信号を取り出す位置を決め圧着式コネクタ内に通す



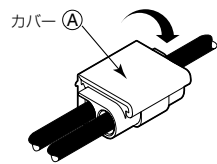
2 カバー②を折り返し指でパチンと音がするまで確実に押し込む。本体ユニット側コードの先端を圧着式コネクタに差し込む(側面に当たるまでコードを差し込んでください)



3 上面の金具をプライヤーなどではさみ込み車両側信号コードと本体ユニット側コードを固定する(コードが外れないように確実に固定してください)



4 カバー①を折り返し指でパチンと音がするまで確実に押し込む

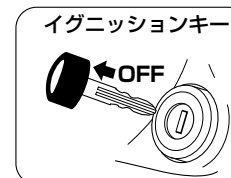


動作チェック

接続確認のしかた

本機および接続する映像機器の操作方法は、各機器の取扱説明書を参照してください。

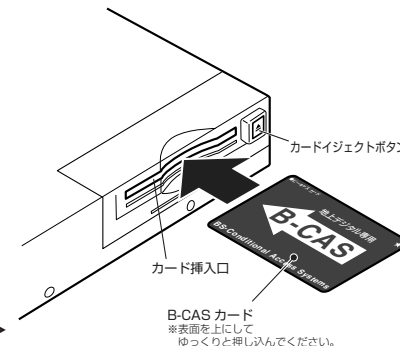
1 車両への取り付け、および配線作業終了後、車両のイグニッションキーがOFFであることを確認する



2 B-CASカード表面を上にして、デジタルTVチューナー本体にゆっくり挿入する

①注意

B-CASカードはパッケージを開封することで「B-CASカード使用許諾約款」に同意したとみなされます。お客様に確認のうえ、本機にB-CASカードを挿入していただきますようお願いいたします。



3 車両のイグニッションキーを<ON>または<ACC>にし、リモコンの電源ボタンを押し、本機の電源を入れる

4 モニターなどの表示を本機に切り換える

5 本機の初期設定を行い、地上デジタル放送が受信できることを確認する
※初期設定については取扱説明書の<初期設定をする>を参照してください。



